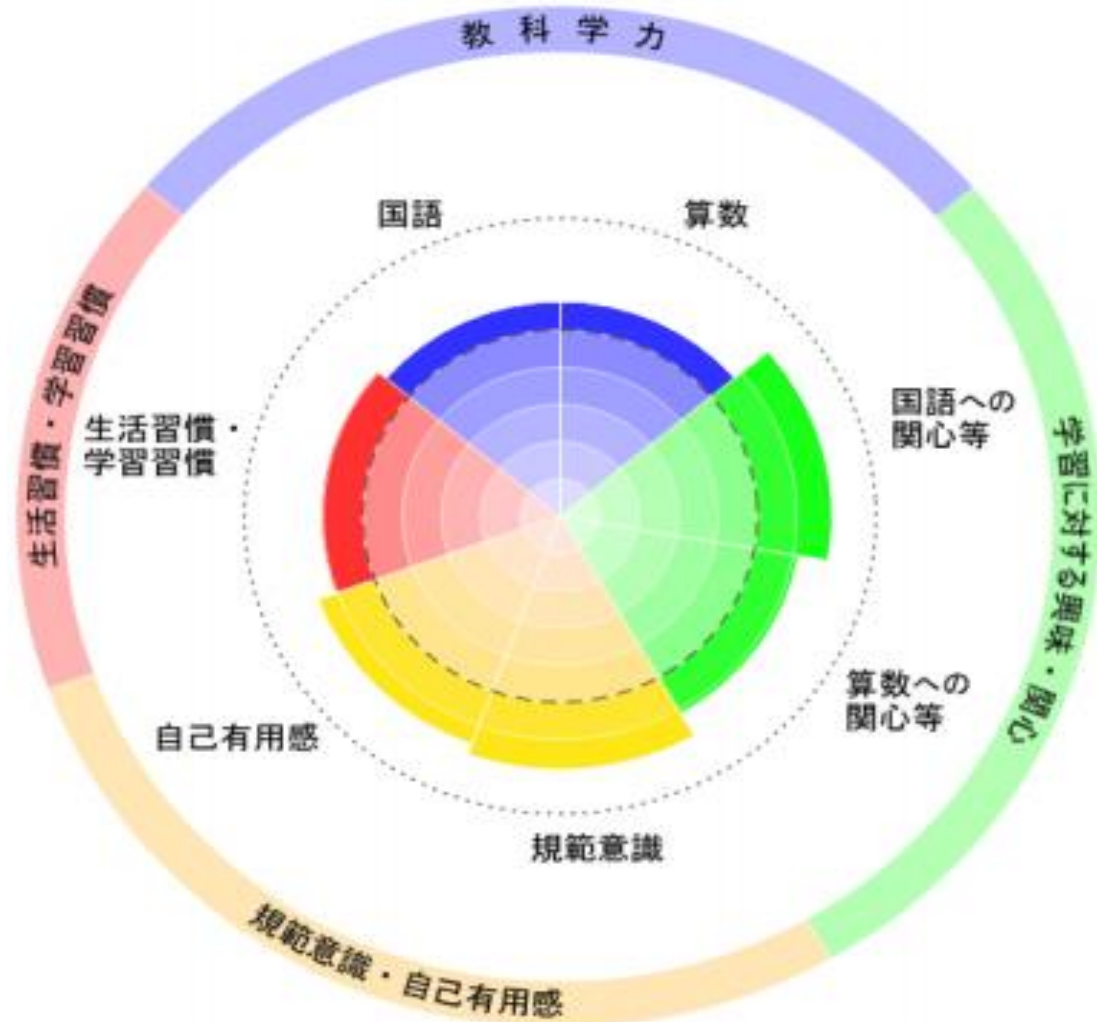


# 令和3年度 全国学力・学習状況調査 結果の考察

令和3年5月27日に全国学力・学習状況調査が行われました。  
その結果が届きましたので、本校6年児童の結果の概要とその考察をお知らせします。

# 《全国学力・学習状況調査結果チャート》

神奈川県との比較



※真ん中の点線が神奈川県の平均を表しています。

## 結果

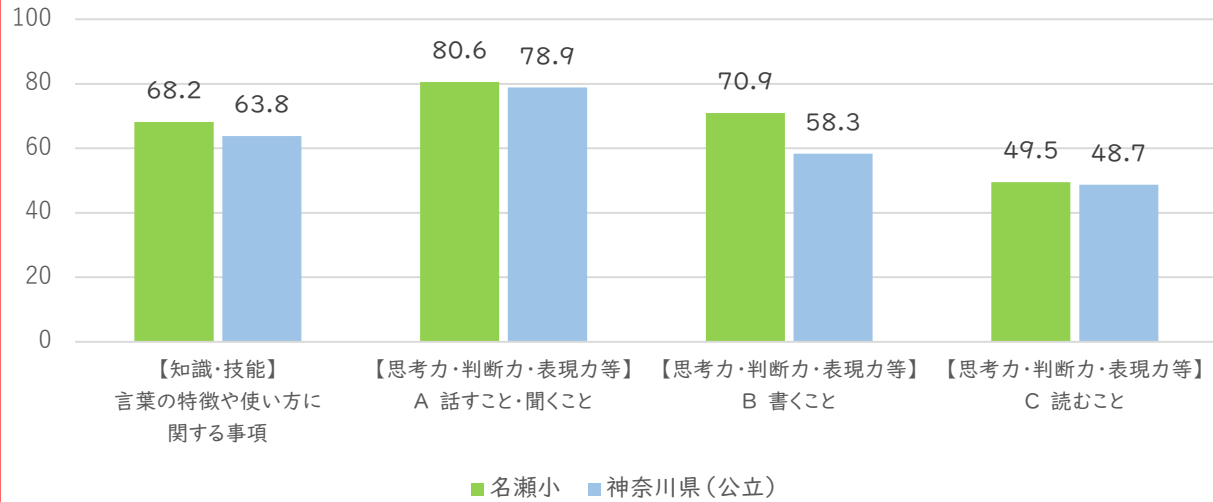
- 全ての数値で、神奈川県平均を上回っている。
- 規範意識・自己有用感に関しては、平均値を大きく上回っている。
- 学習に対する関心等が高い。

## 2つのデータ結果に対する考察

- 「自分や相手を大切にする子」の育成を目指し、心の安定を図る個に寄り添った支援や学習をからめたペア学年やクラス間で交流などが、「自己有用感」の高まりにつながっていると推察される。
- 学習に対する関心等が高いのは、子どもたちが課題意識をもち、主体的・対話的な学びになるような授業に努めてきた成果ではないだろうか。

# 《学力調査結果【国語】》

## 学習指導要領の内容の平均正答率(%)の状況【国語】



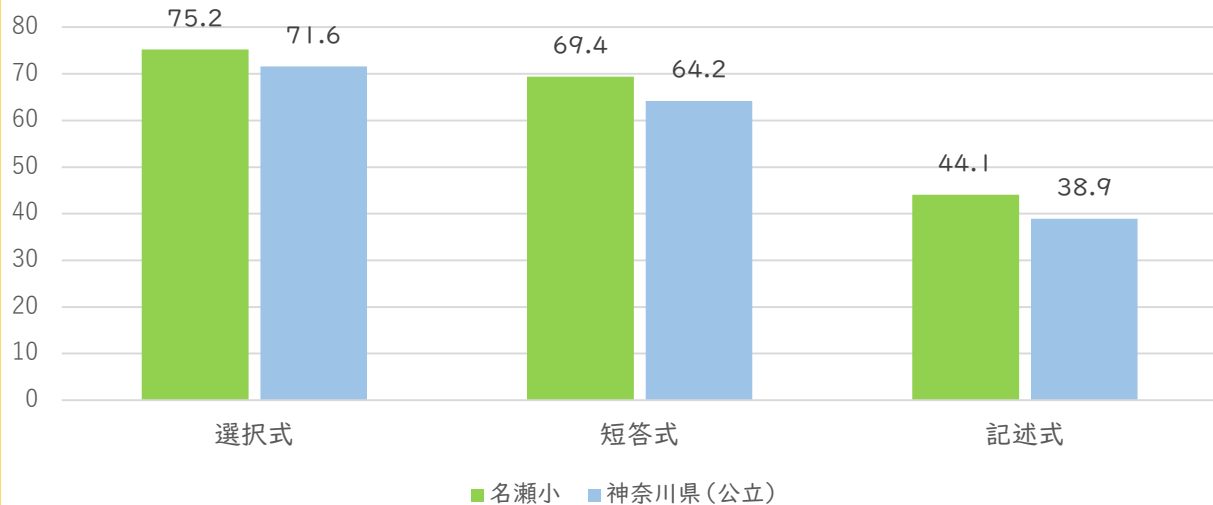
## 結果

- 神奈川県平均と比べて、ほぼ上回っている。
- 「B書くこと」の数値は高い。
- 「C読むこと」の数値は5割を切っている。
- 「選択式」「記述式」に関しては、神奈川県平均を上回っている。とはいえ、「記述式」の数値は5割を切っている。

## 2つのデータ結果に対する考察

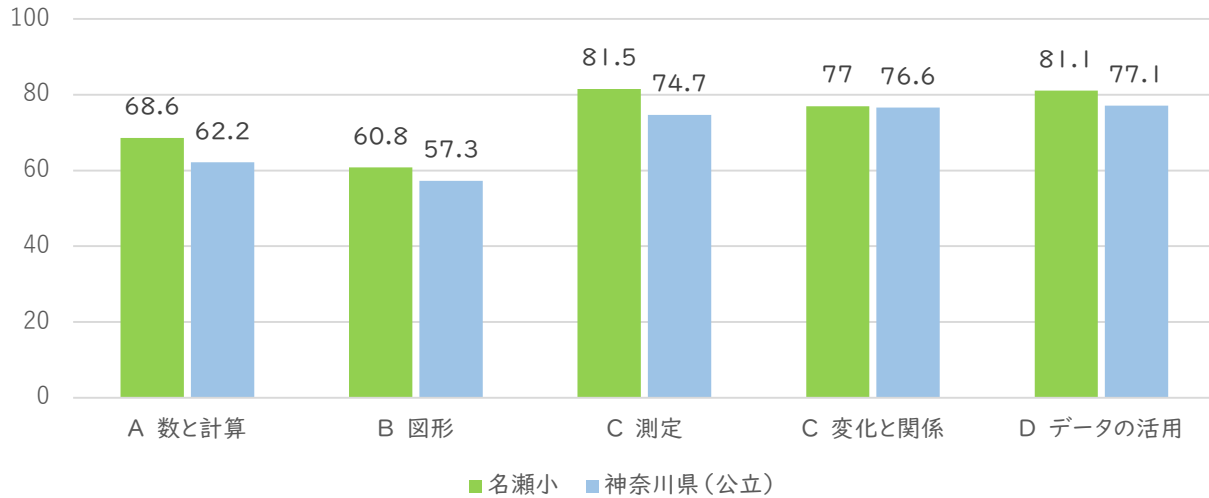
- 本校のグランドデザイン ([こちらをクリック](#)) にあるように「自己表現力を育む授業」の展開に重点を置いて指導していることが、「A話すこと・聞くこと」や「B書くこと」、「記述式」の数値につながったのではないと推察される。
- 「C読むこと」に関しては、神奈川県の数値を上回っているものの高いとは言えない。今後国語科だけでなくあらゆる教科で読書活動に結びつくような授業や資料を読み取り分析・考察し、次につなげる学びを展開していくことが重要であると捉えている。

## 問題形式における平均正答率(%)の状況【国語】



# 《学力調査結果【算数】》

学習指導要領の内容の平均正答率(%)の状況【算数】

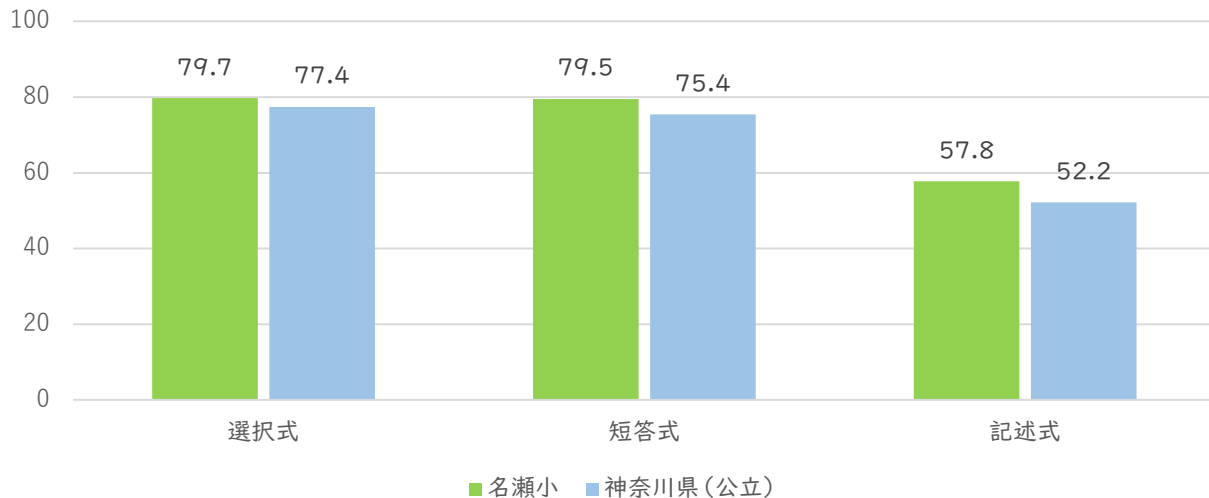


## 結果

- 全ての項目で、神奈川県平均と比べて、上回っている。「C測定」の数値がとて高く、問題形式別では記述式の数値が6割に満たないが、神奈川県平均を上回っている。
- 設問別に見ても、そのほとんどが神奈川県平均を上回っている。

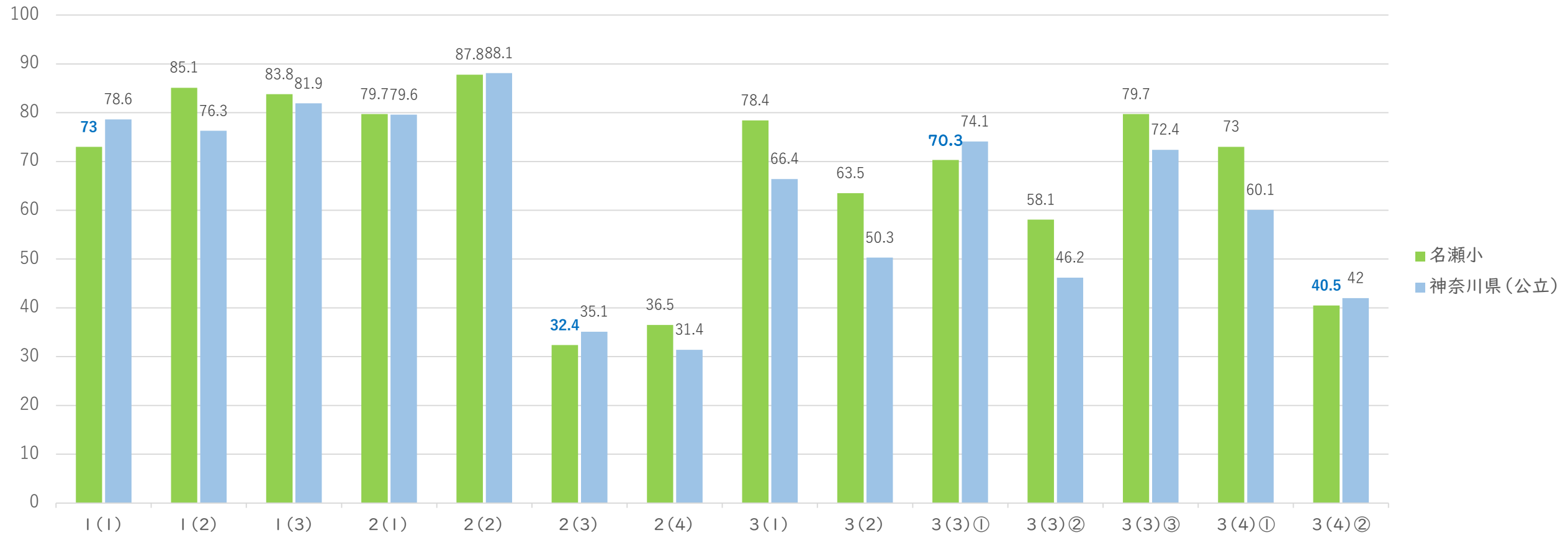
## 2つのデータ結果に対する考察

問題形式における平均正答率(%)の状況【算数】



- 子どもたちの実態を鑑み、**基礎的・基本的な計算**を日々積み重ねてきた。そして、培った基礎的・基本的な力を応用につなげる**授業**を展開してきたことの成果といえるのではないか。
- 国語同様、**「自己表現力を育む授業」**の展開に重点を置いて指導してきたことが「**記述式**」の数値につながったのではないと推察される。

# 《問題別集計結果【国語】》



**1(1)目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える**

1(2)資料を用いた目的を理解する

1(3)目的や意図に応じ、資料を使って話す

2(1)文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する

2(2)思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う

**2(3)目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける**

2(4)目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する

3(1)自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える

3(2)目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わる

ように書き表し方を工夫する

**3(3)①学年別漢字配当表にある漢字(転がって)を文の中で正しく使う**

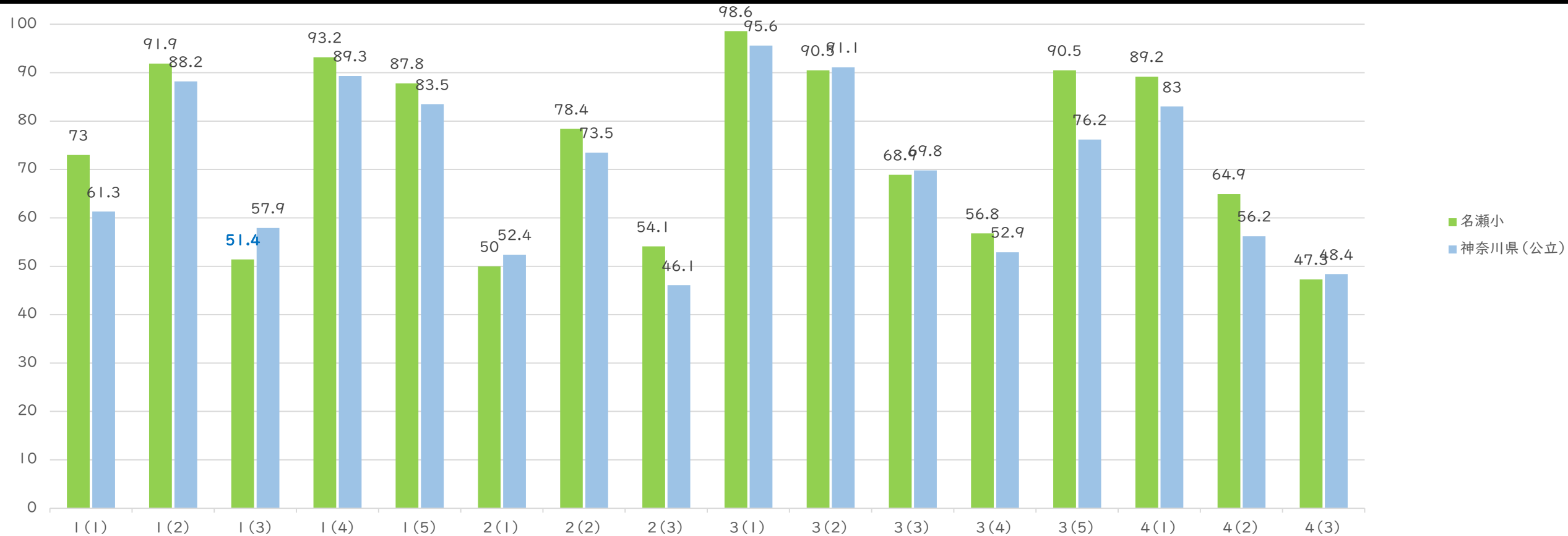
3(3)②学年別漢字配当表にある漢字(積み)を文の中で正しく使う

3(3)③学年別漢字配当表にある漢字(原因)を文の中で正しく使う

3(4)①文の中における主語と述語との関係捉える

**3(4)②文の中における修飾と被修飾との関係捉える**

# 《問題別集計結果【算数】》



1(1)二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる

1(2)速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる

1(3)速さを求める除法の式と商の意味を理解している

1(4)条件に合う時刻を求めることができる

1(5)速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる

2(1)三角形の面積の求め方について理解している

2(2)複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる

2(3)複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる

3(1)棒グラフから、数量を読み取ることができる

3(2)棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる

3(3)データを二次元の表に分類整理することができる

3(4)帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる

3(5)集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる

4(1)提示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる

4(2)商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる

4(3)小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる